

「阪谷の今を考える座談会」第4回 ご報告

開催日：令和4年11月11日（金） 午後7時～

場 所：阪谷公民館 2階 大広間

参加者：15名

テーマ：統合後の阪谷小学校の利活用について



- ・率直な感想や日頃思っていることを自由に言い合おう!!



【座談会の目的やルール】

[目的]

- 阪谷地区の今について、みんなで思っていることや考えていることを自由に話し合っ、そこから地域の問題解決のヒントになるようなことがないか、阪谷の望ましい将来像とはなどについて考えましょう。

(※みなさん、地域のいろいろな団体や会で役などをされているとは思いますが、ここでは、一個人として思いや考えを言っていただければと思います。)

[ルール]

- この会で結論をとることはしません。みなさんの意見は貴重なご意見として主催側で参考にさせていただきます。ですので、他者の意見に同調するのは大いにOKですが、否定することはやめましょう。

[その他]

- この会で出た意見は、貴重な意見として公開（氏名等は公開しません）することにご了承ください。

【座談会（第4回）で出た感想、意見等】

〔4テーブルに分かれて、テーブルごとで下記テーマ等について意見交換〕

主なテーマ： ◆統合後の阪谷小学校の利活用について

第1テーブル

- ◆ 校庭（グラウンド）及び体育館は、現在、スポーツ協会が中心となって各種目の競技等に使っているの、廃校後も引き続き使用していきたい。
- ◆ 校舎については、阪谷地区のコミュニティセンターとして使ってはどうか。当然リノベーションする必要があるが、「健康教室」などといった地域住民の交流の場を提供し、体育館も含め、スポーツ、文化及び高齢者介護施設など多目的施設としてはどうか。
- ◆ 校舎及び体育館を使って自然災害時の地区避難施設としてはどうか。
- ◆ 大野市の防災総合基地(センター)として整備し、ヘリポートなども整備してはどうか。
- ◆ 阪谷保育園そばのプールについては、現在は何の問題もないと思うが、施設管理的に、将来草刈りなどを考えると、地区の負担になる恐れもあるので、撤去も視野に入れて善後策を考えてほしい。

第2テーブル

- ◆ すでに廃校となっている蕨生や六呂師、乾側の各小学校の利活用の今後の方向性がどうなっているか市に示してほしい。
- ◆ 大野市全体の防災備品や食料などの備蓄基地として活用してはどうか。
- ◆ 有望な企業が利用に名乗り出てくれるとありがたい。

第3テーブル

- ◆ 体育館はトイレが2つあるし、鉄筋コンクリートで安心して避難できる。公民館は狭いが、体育館は広く、階段もない平屋なので避難しやすい。

- ◆ 体育館は防災のための備蓄基地として残してほしい。
- ◆ 体育館は敬老会やスポーツ大会など地区の行事に活用できる。
- ◆ 校舎は阪谷を盛り上げるための就職先施設として残して欲しい。阪谷に戻ってきたい人のために、コックや調理師などといった資格をとってカフェなどといった何かお店として展開できるような働けるスペースを作ってほしい。
- ◆ 校舎は教室が多く、宿泊施設としても使えるし、コロナ禍で隔離が必要な時なども各部屋を使える。トイレも洋式に変更している。
- ◆ 給食室（1階）や家庭科室（2階）もある。大人の学びなおしの教室も作るというのではないか。

第4テーブル

- ◆ 維持費や実際勤める人が確保できるかななどの問題は別として、阪谷地区は高齢者が多いことから、地元で福祉施設があるというのではないか。泊まる施設でなくデイサービスでいいので、送迎があって、高齢者の方が遊びに行けたり集えたりする場があるといい。また、そこで手芸教室などといった教室も開催されるとさらによいのではないか。
- ◆ 現在でも、体育館やグラウンドは災害時の避難所や地区の運動会やバレーボールなどのチームの練習などに使用されており、そういった機能は残してほしい。
- ◆ 観光面から考えると、道の駅まで多くの人が来るようになるのだから、そういった人を寄せるような施設はどうか。今ブームのアウトドア関係のアスレチックやキャンプ施設など自然環境を活かした施設もいいのではないか。
- ◆ 子どもが集えるような施設もいいと思うが、これは、大人でなく子どもに直接聞いてみるのも一つの方法かと思う。

※後日提出意見

- プールは、維持管理は大変になるが、地下水を入れることができる構造なので、気温が高くても、地下水を入れて水温を下げることによって利用が可能になる。子ども達や高齢者の夏の健康づくりにも活用ができると思う。
- 子ども達の冬の屋内遊び場として、休日限定で体育館を開放してはどうか。ボールやブ

ロックなどの最小限の玩具を用意しておくことによって自発的に遊べる。ただ、現在のトイレは幼児向けがないので、新たに設置するなり補助具を設置するなりの対応は必要かと思われる。

- 現在、グラウンドにある遊具はそのまま残しておいて、東屋などの日よけ場所を設置するか校舎の一部を開放して活用してはどうか。
- 災害時の避難場所として利用するだけでなく、コロナなど非常時の地区住民の隔離場所（ホテル療養など）として利用してはどうか。地区内であれば精神的な不安や家族の負担なども軽減されるのではないか。
- 保育園の増築した部分は床暖房があり、シャワー室もあるので、子ども達の遊び場所として通年開放してはどうか。